



INTERVIEW

この仕事の良いところは、  
時間が過ぎるのが早いこと。

もっと時間がほしい！  
という日も結構あります（笑）

横山 一幸 Kazuyuki Yokoyama

職種 : バキュームカー運転手  
好きなこと: 野球、ソフトボール、ランニング

こんにちは。EIMONSの大塚です。今号では勤続25年、ベテランのパキュームカー運転手、横山さんにお話を伺いました。横山さんは、県外の企業で空調設備関連の仕事をされていましたが、家族の入院を機に高知へUターン。その後、入社されました。パキュームカーと言えば臭いが気になる仕事だとは思いますが、横山さんは、この仕事に抵抗がなかったのでしょうか？ 素朴な疑問を聞いてみると、「祖母の手伝いで肥溜めを運んでいたりしていたので、この仕事に違和感や抵抗はなかった」と言います。先代社長から、今の岡本社長に変わり、社内環境や福利厚生もどんどん改善されていったようで、「仕事にまつわる備品や資材も良くなり、より衛生的で働きやす

い環境になった」と言います。今では、仕事の悩みや不満も一切無くなったそうです。取材中、この仕事の良いところは何か？ と横山さんに尋ねると、「時間が過ぎるのが早いこと！ これまでの会社では、翌日が仕事だと考えると憂鬱でしたが、この会社に入ってからには全くない。自分自身、やっぱり仕事が楽しいんでしょうね。もっと時間がほしいという日も結構あります（笑）」と応えてくださり、仕事にとってもやりがいを感じているようでした。横山さんは、通常は勤務時間中に行うパキュームカーのオイル交換を休日に行っているそうです。「仕事の時間にせかせかするのが嫌なので、それやったら休日にゆったりオイル交換の方が良いんです。2連休のときは、1日



2,3時間、オイル交換のために会社に行きます。自分の勝手な行動で好きにやらせてもらえるので有り難い」と話す横山さんの表情は充実感に満ちていました。

取材・写真・文：EIMONS 大塚 智裕